

福島第二原子力発電所 1号機主排気ダクト接続配管からの空気の漏えいについて

2015年7月28日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

2015年7月27日午前11時10分、福島第二原子力発電所1号機主排気ダクトと換気系排気筒入口放射線モニタ*の配管接続部に、長さ約8mm幅約3.5mmの穴があり、建屋換気空調系の空気が漏えいしていることを当社社員が確認しました。

当該箇所周辺の放射性物質濃度を測定した結果、検出限界値未満でした。

その後、1号機の建屋換気空調系を停止したところ、空気の漏えいが停止したことを確認しました。

当該箇所の穴については、本日、応急処置を行い、建屋換気空調系を起動して、空気の漏えいがないことを確認しました。

今後、原因について調査してまいります。

なお、主排気筒モニタおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動はなく、外部への放射能の影響はありません。

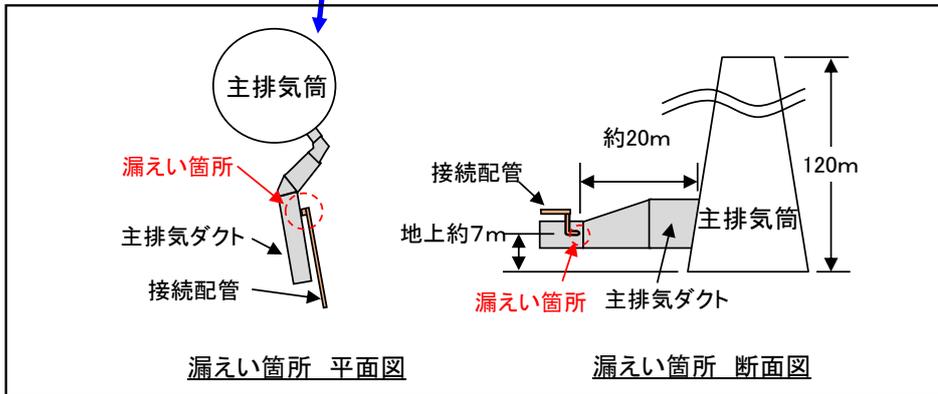
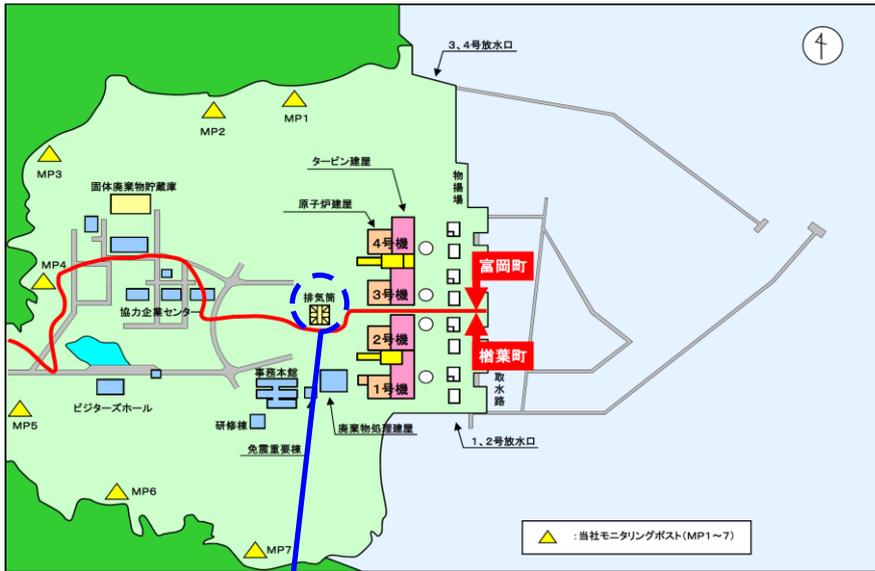
以上

* 換気系排気筒入口放射線モニタ

主排気ダクトの空気の一部を連続採取し、排気筒入口の放射線量レベルを常時監視している系統

(お問い合わせ先)
福島第二原子力発電所広報部
電話：0240-25-4111 (代表)

1号機主排気ダクト接続配管 空気漏えい箇所 概略図



漏えい箇所



漏えい箇所(拡大)



応急処置後(接続配管側)



応急処置後(主排気ダクト側)

*数値に誤りがありましたので訂正しております。(2015年7月29日訂正)